

2009年度

科目名	産業心理学		
担当教員	小西 宏幸		
配当	人社3	コード	44540
開期	前期	講時	木曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	産業場面における心理学的知見の活用について考察します。		
目的と概要	心理学は基本的には個人の行動原理に関する学問です。そして、人間が公的な組織でさまざまな活動を行うと、多様な心理現象がつきまといまいます。この講座では、企業内の人事における適性の問題や職場ストレスの諸現象などを講義したいと思います。		
成績評価法	試験(70%) + 平常点(30%) 平常点は、レポート提出などによって加味します。		
テキスト	外島裕・田中堅一郎編 増補改訂版 産業・組織心理学エッセンシャルズ ナカニシヤ出版		
参考書	渡辺三枝子 編著 新版 キャリアの心理学 ナカニシヤ出版 など		
履修に当たっての注意・助言	この科目は、消費者の心理を履修すると、より理解は深まると思います。講義は、必ずしも予定の順序では進行しない場合もあります。		
講義計画			
第1回 産業心理学とは？ 第2回 労働意欲(1) 第3回 労働意欲(2) 第4回 産業場面におけるさまざまな心理アセスメント 第5回 適性心理学(1):主に職業指導や選抜の観点から 第6回 適性心理学(2):人事に関わるさまざまな現象から 第7回 リーダーシップ理論 第8回 労働とライフスタイルの問題:仕事依存症やさまざまな嗜癖について 第9回 職場ストレスと精神衛生(1):人間工学からみたテクノストレスなど 第10回 職場ストレスと精神衛生(2):労働条件とバイオリズム、過労とうつ病の問題など 第11回 EAPにおける心理学の役割:認知行動療法とは？ 第12回 組織における協同と葛藤(1):主に促進要因について 第13回 組織における協同と葛藤(2):主に阻害要因について 第14回 問題解決とは?:心理学における課題解決法の知見 第15回 まとめ			